



# 参議院議員 石井みどりNEWS



## 歯科問題議員連盟 設立総会を開催 石井みどり 事務局長に就任



歯科保健医療政策を総合的・体系的に推進するため、国民歯科問題議員連盟は29日、設立総会を開催した。事務局長には、これまで同議連設立の中心的役割を担ってきた石井みどりが就任。同議連は自民党国会議員有志により構成され、今後、自民党とは社会保障制度調査会（会長 鈴木俊一衆院議員）の下に位置する歯科診療に関するプロジェクトチーム（主査 井上信治衆院議員）等と連携し政策を実現していくことになる。加入者数は衆参国会議員を合わせて現在、約250名を超えた。当日の参加者は160名超。

総会では、呼びかけ人である石井の挨拶の後、賛同者を代表して津島雄二衆院議員（党税制調査会長・平成研会長）が挨拶。その中で石井が事務局長に推され、その場で規約とともに了承された。その他役員人事については2月末をめどに調整される。その後、日歯の大久保会長より「生涯を通じた歯科保健・医療対策の概要」と題し、幼児期・学齢期には母子保健法と学校保健法により歯科健診が義務となっているが、以降は歯科健診が義務化されておらず制度として国民の歯科保健が担保されていない現状の問題点や、歯周病と糖尿病の関係など、歯と健康について説明があった後、質疑応答へと移った。質疑応答では、医師でもある清水鴻一郎衆院議員から歯科健診を徹底することが医療費の抑制にもつながるという指摘等、多くの国会議員から意見・質問があった。

これまで自民党の中には、歯科診療に関するPTの他、勉強会として真の歯科医療を勉強する会（会長 田村憲久衆院議員）等が存在したが、歯科の職域代表が事務局長などの中心的役割を担い、国民歯科保健医療政策を推進し実現していく機関が党の内部に存在しなかった。そこで、石井の当選後、衆議院議員を中心とした多くの自民党国会議員から職域代表を中心とした議連を設立して欲しいという要望を受け、この度の議連設立となった。昨年末の設立を望む強い声もあったが、診療報酬改定と時期的に重なり、対応する力が分散することを危惧した石井は1月中の設立を目指すことで話を収め、この度の設立総会開催となった。

### 参議院議員 石井みどり事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館206号室

電話番号： 03-3508-8206

FAX：03-5512-2206

e-mail：midori\_ishii@sangiin.go.jp

HP：http://www.ishii-midori.jp/